

- 1 住みよいまちを力を合わせつくみましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきぎきましょう



春の散策に

向日市特産の「孟宗竹」を使った竹垣の散策道「竹の径」(第2期)の整備がこのほど完了しました。今回は、平成12年度に完成した寺戸大塚古墳周辺約500mを挟んだ第6向陽小学校付近から竹林公園(京都市西京区)まで(下図参照)の約600mを整備しました。

竹垣には、割った竹を約1.5mの高さに組み上げた「物集女垣」が新しくデザインされました。これで、「竹の径」には、新しく設置された「物集女垣」をはじめ、竹の枝を束ねて並べていく伝統的な「竹穂垣」、寺戸大塚古墳周辺にある竹を丸く曲げ四つ目に組み合わせた「古墳垣」、シンプルに四つ目に編み上げた「寺戸垣」の四種類の竹垣が見られ、散策する人たちの目を楽しませています。

うらかな春の日に、家族や友人と竹林の小径を散策されてはいかがですか。



物集女垣



寺戸垣



古墳垣

「竹の径」第二期工事完成

向日市まるごと博物館

みんなで創ろう!

向日市には、長岡京跡や江戸時代の町屋、西国街道など、国や京都府などが指定した文化財をはじめとする歴史遺産や文化資源が数多く点在しています。しかし、これらの地域資源はあまり知られず、また資源として活用されず、中には埋もれ、消え失せようとしているものもあります。

エコミュージアム「向日市まるごと博物館構想」は、市内の文化財をはじめ、古い建造物やまちなみの風景、伝統芸能などの行・催事など、地域全体を向日市の歴史博物館として見立て、市内に散らばる文化資源を目に見える形で結びつけ、歴史を生かした魅力あるまちづくりを復元させていこうとする取り組みです。



「西国街道沿いの民家と風景」木村吉太郎氏寄贈絵画

むこう・まちづくり探検隊(ボランティアスタッフ募集)

エコミュージアム「向日市まるごと博物館構想」の実現を図るために、むこう・まちづくり探検隊を募集します。

むこう・まちづくり探検隊は、まち歩きや学習、日常生活のさまざまな出会いを通じて、まちなかに埋もれている建造物やまちなみの風景の再発見、伝統芸能や四季折々のまちかどの催事の復活などにチャレンジし、向日市にしかない新しい魅力や活力を一緒に見つけ、考えていただくボランティアスタッフです。

向日市の歴史や自然を生かした地域づくりに興味のある方で、次のことを一緒にお手伝いいただける方を募集しています。

- ◇まちづくり探検ツアーの実施◇まちづくり塾の開催(一晩中まちづくりについて語り合う)◇向日市の魅力を地図に落とし、まちづくり探検マップの作成◇観月の夕べなどの四季折々の催事の調査と復活◇文化財を生かした文化行事の取り組み◇向日市まるごと博物館の情報発信

■お問い合わせ
健康都市推進室 内線277・280

エコミュージアムとは

エコミュージアムは、フランスで始まった、固有の文化を有しているひとまとまりの地域全体を博物館として見立て、住民と行政がパートナーシップを有しながら地域を学習し、交流していく施設と活動として紹介されています。

向日市文化創造プランを策定しました

向日市では、文化振興基本計画に代わる新しい文化のまちづくり指針として文化創造プランを策定しました。このプランでは、「市民1人ひとりを文化的な存在」として捉え、市民が生涯にわたって文化を享受し、文化活動に参加することを通じて生きがいを感じながら暮らしていける文化のまちづくりを基本的な考えとしています。今後10年間にわたって、文化の創造的活動を支援していく「市民文化創造プロジェクト」や、文化財やまちなみなどまち全体を博物館に見立てた「エコミュージアム向日市まるごと博物館構想」、文化芸術の舞台となる美しい都市空間を創造する「絵になる修景形成プロジェクト」など、7つの主要プロジェクトを中心に進めていくこととしています。

このプランは、市役所情報公開コーナーや図書館、公民館、コミセンなどの公共施設で閲覧ができます。また、希望者は、健康都市推進室で配布しています。

「竹の径」位置図

